

衆院選推薦候補 沖縄県第3区 社民党

めざそう平和いかそう9条 なくそう格差・基地不安

アラ川秀清

〈メッセージ〉

政治の流れを変える それしかありません

政治はうまんちゅのいのちとくらしを守ることに

しかし いま

医療は 安心でしょうか

年金は 保障されているでしょうか



福祉は ゆきとどいていてるでしょうか

平和憲法は いかされてるでしょうか

私は すべての人々が等しく生活でき、生きがい持てる国をめざして、国政へ挑みます

北部・中部地域を、基地のない安心・安全・活気あふれる街や地域にするために

米軍再編での基地集中化は許しません！

生活・地域格差の拡大を止めましょう！

もつと もつと

基地をなくし、自立の地域力あふれるー

豊かな森や緑や川、海をくらしに活かすー

若い人たちが、確かな活力を出せるー

子や孫が、希望と誇りを持てるー

そんな、北部・中部地域を実現したい

社協、行政、市長、県会議員体験で知り、

学び得た沖縄・現場の声と叫びを

うまんちゅとともに 国会へ

皆さまのご支援をお願い申し上げます

〈アラ川秀清の歩み〉

一徹に！ うまんちゅのいのちとくらし守って50年

◇生活格差の大きい米軍支配下で福祉の母・島マス先生のもと福祉の道へ

◇大山朝常コザ市長に乞われて市役所へ、福祉・経済で市民の声聞く部長として力を発揮

◇市職員から革新統一の沖縄市長へ、輝く！「人にやさしい街づくり」の市政

〈平和〉全国初、「市民平和の日条例」制定。平和月間を設け、市民ぐるみの平和・護憲運動を展開。

〈福祉〉県内初の在宅介護センターの開所、児童館の新設、無認可保育園の健康診断助成、

公共施設のバリアフリー化〈農業〉観光と農業を一体化する「アグリビジネス構想」の提唱等。

◇市政から県議会へ、護憲ネットワーク代表で奮闘、平和・護憲・福祉・基地なき自立を訴える

〈プロフィール〉

1937年沖縄市生まれ。60年沖縄県社会福祉協議会に勤務、米軍支配下の本土との格差の大きい社会福祉の底上げに奔走。基地の街コザ市・

沖縄市で福祉・経済部長を歴任。90年沖縄市長に当選（2期8年）。米軍嘉手納基地隣接の2町に呼びかけ、沖縄市・嘉手納町・北谷町の首長連絡協議会「三連協」を結成。2000年沖縄県議に

当選（2期8年）、第二次嘉手納爆音訴訟議員団

団長等を歴任。現在、社民党沖縄県連合副委員長。

月刊『日本の進路』194号(2008年10月号) (22)